

景気動向調査

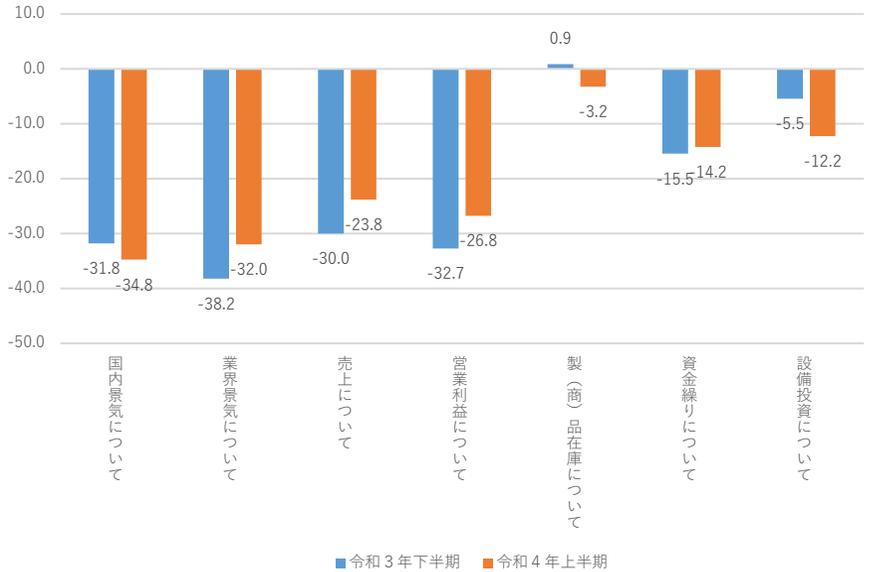
(飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)

令和4年1～6月期

調査概要

調査時期	令和4年8月9日～令和4年8月31日
対象時期	当期：令和4年1月～6月（実績）
	次期：令和4年7月～12月（予測）
対象	一般商工業者85社 (飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)
回答率	69.4%
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査内容	①業界景気、自社景況などの実績と次期予測
	②経営上の課題
	③新型コロナウイルスの事業への影響、行政に望む支援など (自由記述)

B.S.I値



調査総評

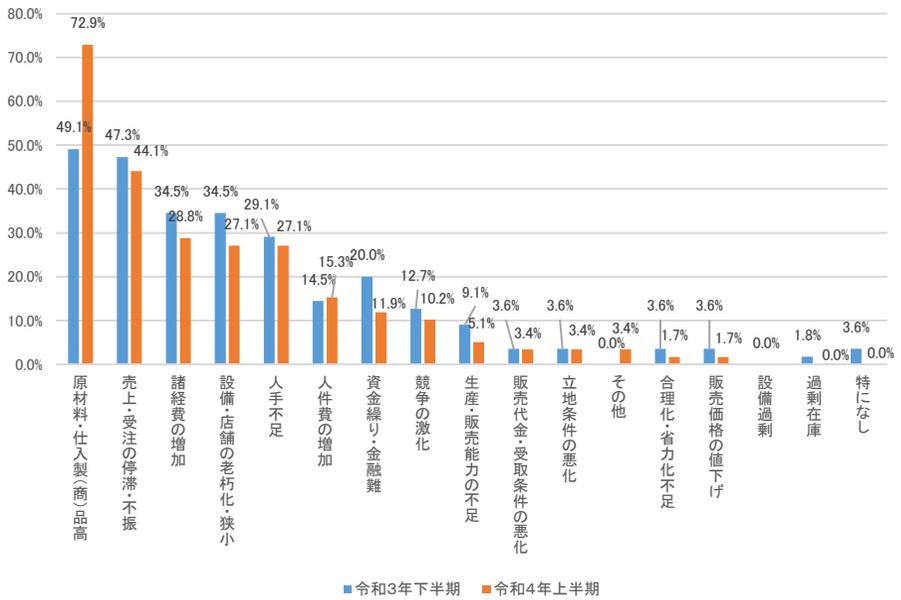
(1) B.S.I値

国内景気、業界景気の当期実績値はともに△33ポイント前後にあり、低迷が続いている。業界景気の方角性は上向いているものの、依然として厳しい状況が続く。設備投資についても、後ろ向きな傾向が出ている。

(2) 経営上の課題

「原材料・仕入製(商)品高」の回答率は、前回と比較して20%以上の上昇を見せた。そのほかの選択肢では大きな変動は確認できないものの、「売上・受注の停滞・不振」に約半数の回答が集まった。

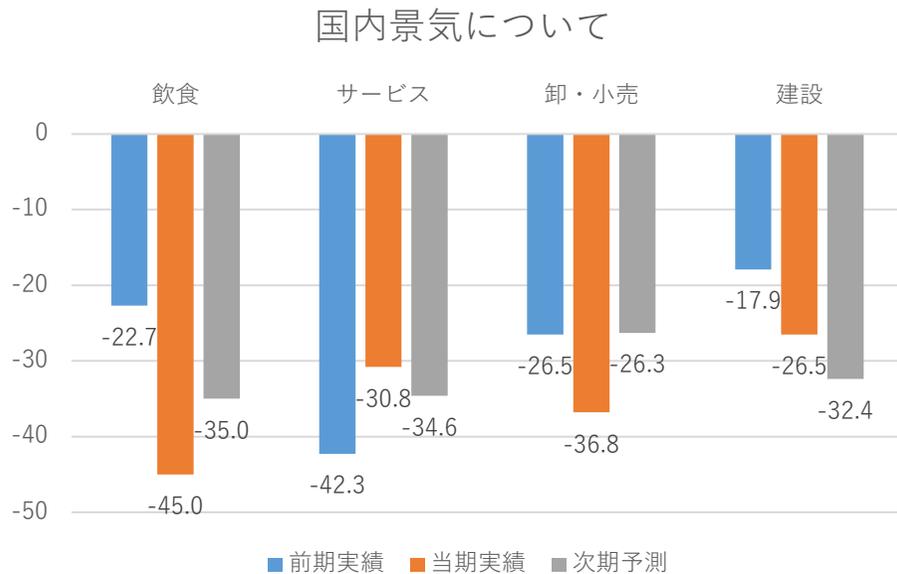
経営上の課題



1. 【質問1】 集計結果

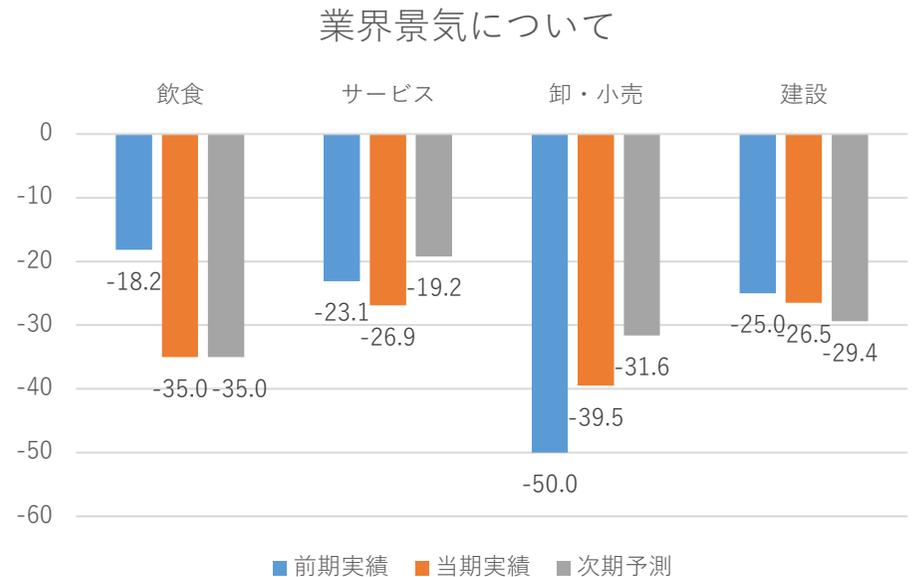
－ B.S.I で見る業種別景気動向－

(1) 国内景気について



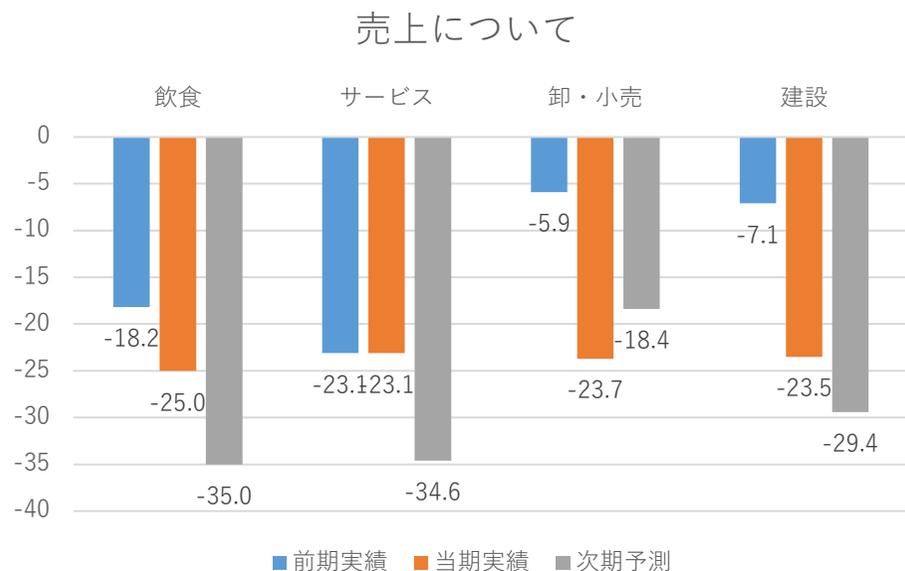
- ・ 飲食業の当期実績値がBSI△45.0を記録。他の業種も△20.0～△30.0台と低迷した
- ・ 同じくサービス業はBSI△30.8を記録するも、前期より数値が改善。その他業種の当期実績は前期比で悪化している

(2) 業界景気について



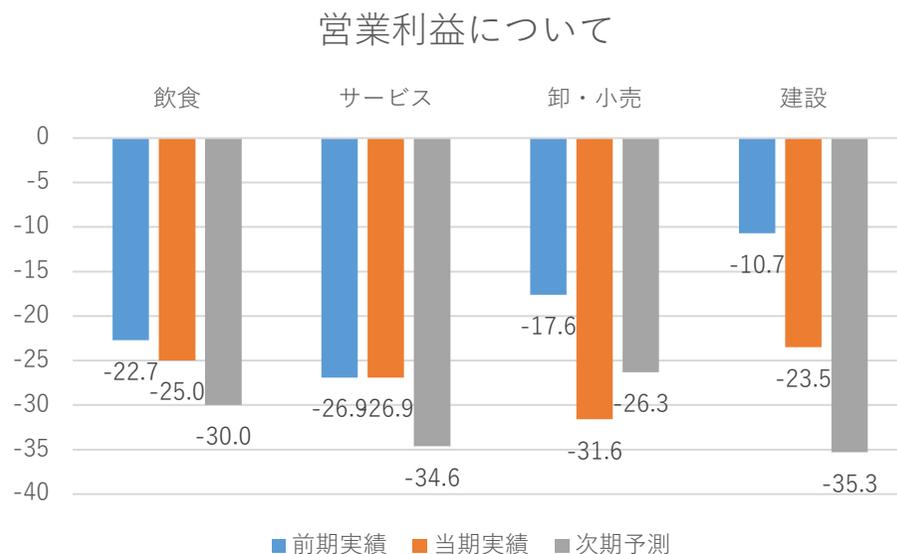
- ・ 卸・小売業の当期実績値は前期より改善傾向も、BSI△39.5を記録。全業種の中で最も状況が悪いことがわかる
- ・ 飲食業の次期予測は、当期実績と同値で下半期も同様の状況が続く見込み
- ・ サービス業、卸・小売業は、次期改善の見通し。建設業はわずかながら悪化予測となった

(3) 売上について



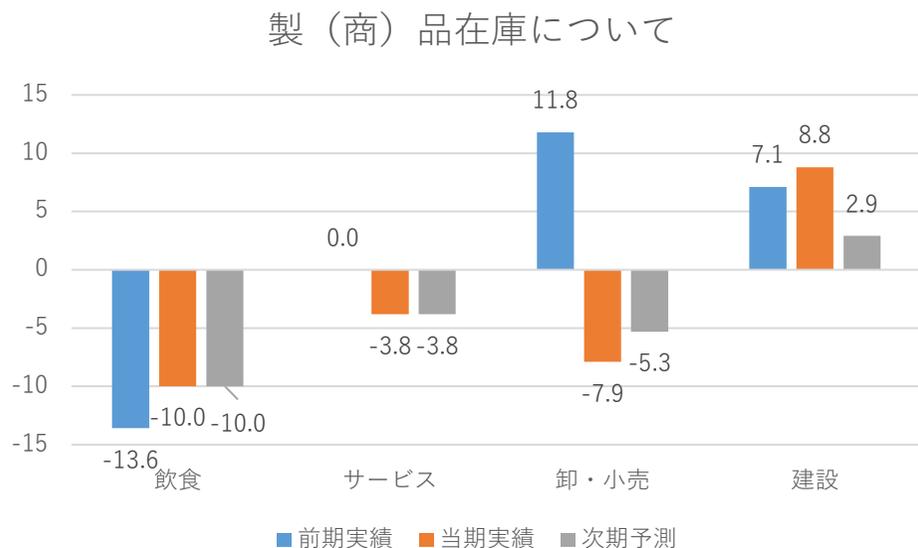
- ・ いずれの業種の当期実績値も、前期比で悪化または同値となり、状況の悪化あるいは停滞が読み取れる
- ・ 卸・小売業、建設業は前期比で大幅な下落
- ・ 卸・小売業を除く3業種では悪化の見通し。前期から比較しても、悪化の一途にある

(4) 営業利益について



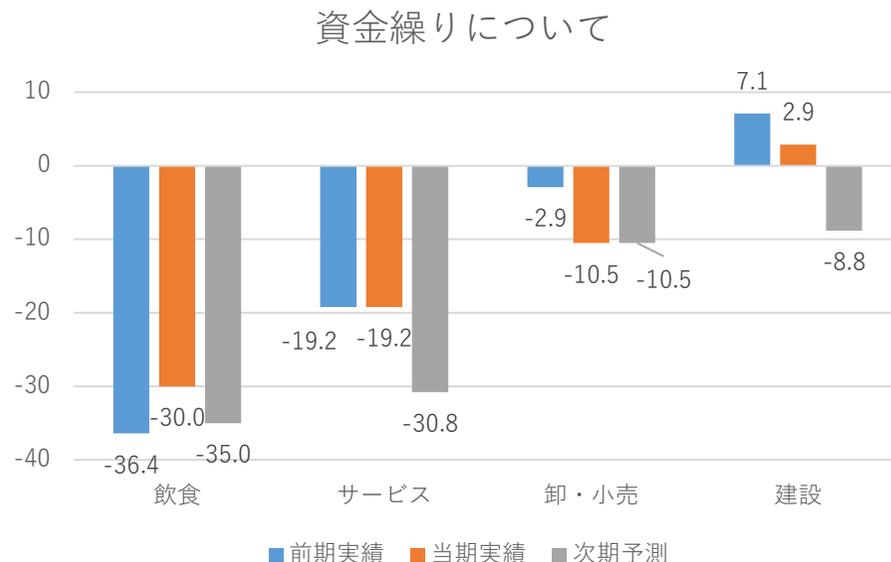
- ・ いずれの業種の当期実績値は、前期比で悪化または同値となり、状況の悪化あるいは停滞が読み取れる
- ・ 卸・小売業の次期予測はやや改善の見通し
- ・ そのほか3業種では悪化の見通し。建設業では約12ポイント下落。悪化の一途にある

(5) 製(商)品在庫について



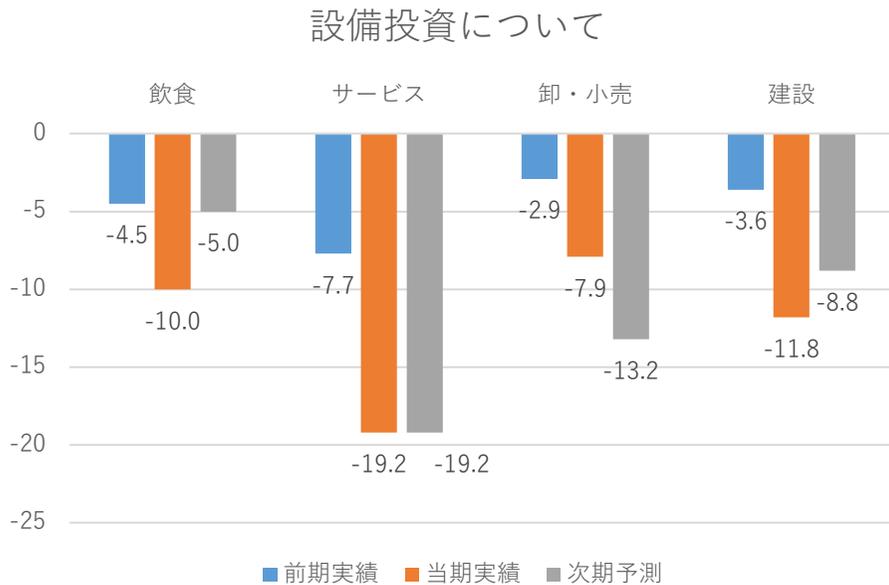
- ・ 飲食業、サービス業、卸・小売業の当期実績はマイナスとなり、在庫過多を表した
- ・ 建設業では在庫過少の状況が続いた
- ・ 卸・小売業は前期実績で在庫過少を表していたが、一転して在庫過多傾向の予測に

(6) 資金繰りについて



- ・ すべての業種の数値はマイナスを記録
- ・ 特に△30.0を記録した飲食業では資金繰りが困難な状況にあることがわかる
- ・ サービス業が約10ポイント悪化。比較的状况が良かった建設業でも、次期悪化の見通し
- ・ 飲食業は引き続き困難な状況にある

(7) 設備投資について



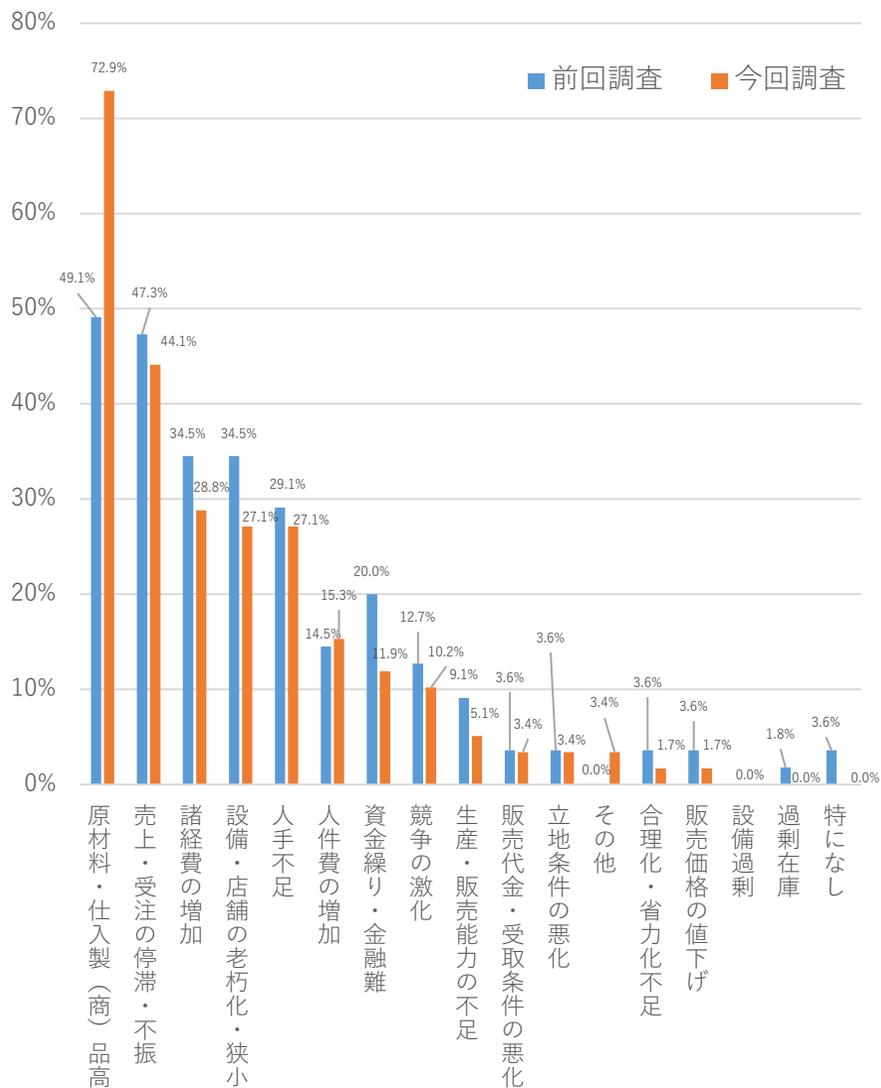
- いずれの業種の実績も前期比で悪化となった
- 特にサービス業では10ポイント以上の下落を見せており、設備投資に後ろ向きな状況がうかがえる
- 飲食業、建設業の次期予測はやや改善
- サービス業は当期と同様の状況が続く見通し。
- 卸・小売業はやや悪化となった

2. 【質問2】 集計結果

－業種別、経営上の課題－

(2) 経営上の課題 ①

令和4年1～6月 経営上の困りごと



- ・「原材料・仕入製(商)品高」が、前回調査時と比較して、約20%以上も上昇
- ・上記を除くと、「人件費の増加」と「その他」が微増となった以外は、いずれの割合も減少している

(2) 経営上の課題 ② 参考：業種別

※前期との増減比が±10%以上の項目を強調

	合理化・省力化不足	設備・店舗の老朽化・狭小	原材料・仕入製(商)品高	販売代金・受取条件の悪化	設備過剰	売上・受注の停滞・不振	資金繰り・金融難	人手不足	人件費の増加	過剰在庫	販売価格の値下げ	競争の激化	生産・販売能力の不足	諸経費の増加	立地条件の悪化	その他	特になし
飲食業	0.0%	40.0%	80.0%	10.0%	0.0%	50.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
前回調査との差	0.0%	-5.5%	16.4%	10.0%	0.0%	-4.5%	-7.3%	-5.5%	20.0%	-9.1%	0.0%	-9.1%	-9.1%	-6.4%	0.9%	0.0%	0.0%
サービス業	0.0%	23.1%	46.2%	0.0%	0.0%	46.2%	30.8%	30.8%	23.1%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%
前回調査との差	0.0%	-15.4%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-15.4%	0.0%	-7.7%	-15.4%	-7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
卸・小売業	0.0%	36.8%	84.2%	5.3%	0.0%	52.6%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%	5.3%	47.4%	5.3%	5.3%	0.0%
前回調査との差	-5.9%	1.5%	43.0%	5.3%	0.0%	17.3%	-11.8%	-5.9%	-6.5%	0.0%	5.3%	10.5%	-0.6%	0.3%	-0.6%	5.3%	-11.8%
建設業	5.9%	11.8%	76.5%	0.0%	0.0%	29.4%	5.9%	47.1%	17.6%	0.0%	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
前回調査との差	-1.2%	-9.6%	5.1%	-14.3%	0.0%	-27.7%	-8.4%	4.2%	10.5%	0.0%	-7.1%	-2.5%	-1.2%	-15.5%	0.0%	0.0%	0.0%

3. 【質問3】 寄せられた声

新型コロナウイルス感染症流行拡大による
事業への影響や、要望する支援

自由記述（新型コロナウイルスの事業への影響、要望する支援、他）

<給付金、助成金>

- ・業種を問わない弾力的な支援がほしい（飲食業）
- ・事業復活支援金の復活を望む（卸・小売業）

<行政>

- ・補助金の下限額の見直し（卸・小売業）
- ・景気対策事業の展開（飲食業、サービス業）
- ・継続的な支援が欲しい（飲食業）
- ・withコロナ時代に即した景気対策（サービス業）
- ・働き方改革へのフォロー（飲食業、建設業）
- ・物価高対策（建設業）
- ・借入金に対するフォローがほしい（飲食業）
- ・地元で経済が回るような仕組構築（建設業）
- ・キャンペーンなど、支援策の長期展開（飲食業）

<経営>

- ・借入金以外の資金繰り策（サービス業）
- ・輸入品の減少と高騰。連動して国産品も値上がりしている（卸・小売業）
- ・新型コロナウイルスの影響以外にも、異常気象などの自然環境変化によるダメージもある。自分の身は自分で守らないといけないと感じる（卸・小売業）

<新型コロナウイルスの流行拡大について>

- ・あまりにも長引く新型コロナウイルスの流行に、これ以上どう対策していったらいいか考えが追いつかない（飲食業）

<社会保障、税制>

- ・税制緩和（飲食業、サービス業）
- ・固定資産税の減免（サービス業）

参考

設問様式等

B.S.Iとは

- 「Business Survey Index（ビジネス・サーベイ・インデックス）」の略で、景況判断指数のひとつ
- 現在の景気水準をはかるDI（ディフュージョン・インデックス）に対して、BSIは前期と現在の景気状況を比較するため、景気の方角性を判断できる
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

計算式：（「上昇：好調の要素」－「下降：不調の要素」）÷2

※最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項 目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製(商)品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

質問事項

経営上の課題について、該当するものを3つまで選び、ご記入ください。

合理化・省力化不足

設備・店舗等の老朽化・狭小

原材料・仕入製（商）品高

販売代金・受取条件の悪化

設備過剰

売上・受注の停滞・不振

資金繰り・金融難

人手不足

人件費の増加

過剰在庫

販売価格の値下げ

競争の激化

生産・販売能力の不足

諸経費の増加

立地条件の悪化

その他（ ）

特になし